

『JVA 2021 年上半期(1月～6月) 統計調査結果』について

当協会はこのたび、2021 年上半期(1月～6月)の JVA 会員メーカーのビデオソフト出荷統計をまとめましたので、その概要につきお知らせいたします。

2021 年上半期（1月～6月）の実績について

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は 695 億 2,700 万円で前年同期比 97.3%だった。そのうち、DVD ビデオは 300 億 2,000 万円で前年同期比 88.5%に対し、ブルーレイ (Ultra HD Blu-ray を含む。以下、ブルーレイと表記。) は 395 億 700 万円で同 105.3%と前年同期を上回った。DVD ビデオとブルーレイの構成比率は概ね前年同期並みだが、ブルーレイの比率がやや上がっており、ブルーレイの拡大傾向が見られる結果となった。

<添付資料 表 1 >

2. ビデオソフト全体 (DVD ビデオとブルーレイの合計) の売上金額を販売用、レンタル店用の市場別にみても、販売用が 619 億 8,200 万円で前年同期比 106.9%と好調だった。一方でレンタル店用は 69 億 7,100 万円で前年同期比 53.8%の大幅な減少となり、急速に縮小が進んでいる。販売用、特殊ルート、レンタル店用、業務用の売上金額における割合は、89.2 対 0.3 対 10.0 対 0.5 となり、レンタルの割合の減少により市場における販売用のシェアがさらに拡大している。

<添付資料 表 4 >

3. DVD ビデオの販売用売上金額は 231 億 3,900 万円で前年同期比 104.8%、ブルーレイの販売用は 388 億 4,300 万円で同 108.2%とどちらも前年同期実績を上回った。また、販売用全体に占めるブルーレイの割合は 62.7%となり、前年同期と同程度であった。

<添付資料 表 5A >

販売用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比 1 位の『日本のアニメーション (一般向け)』(37.9%) は、昨年 10 月に劇場公開され、大ヒットを記録した『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』のリリースがあり、前年同期比 157.5%と大きく伸長した。一方、構成比 2 位 (33.2%) の『音楽 (邦楽)』は同 92.7%とやや伸び悩んだ。この上位 2 ジャンルで全体の 7 割以上の売上を占めている。また、構成比 3 位以下では『日本の

TVドラマ』(構成比 6.7%)が前年同期比 114.9%、『邦画 (TV ドラマを除く)』(同 5.6%)が同 116.1%、『芸能・趣味・教養』(同 4.9%)が同 102.6%となるなど、『洋画(TV ドラマを除く)』(同 4.1%)の同 50.7%以外の主だったジャンルでは前年同期実績を上回り、回復傾向が見られた。なお、『海外のアニメーション(一般向け)』は前年同期に大ヒットタイトルとなった『アナと雪の女王 2』のリリースがあった影響により前年同期比は 10.6%にとどまっている。

<添付資料 表 7 >

4. DVD ビデオの販売用の売上金額は 231 億 3,900 万円で前年同期比 104.8%だった。ジャンル別に見てみると、前年同期に構成比 46.6%を占めた『音楽 (邦楽)』は構成比 43.2%、前年同期比 97.2%となり、若干伸び悩んだ。一方、構成比 2 位 (23.2%) の『日本のアニメーション (一般向け)』は、『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』のリリースがあり、前年同期比 184.8%と大きく伸長し、前年同期リリースの『アナと雪の女王 2』の影響で前年同期比 4.4%と落ち込んだ『海外のアニメーション(一般向け)』の減少をカバーした。
- また、構成比 3 位 (8.2%) の『日本の TV ドラマ』は同 99.6%とほぼ前年同期並み、構成比 4 位 (6.0%) の『邦画 (TV ドラマを除く)』は同 106.0%と前年同期を上回ったほか、構成比 2.7%と比率的には低いものの『アジアの TV ドラマ』が前年同期比 112.2%と健闘した。

<添付資料 表 7 >

5. ブルーレイの販売用の売上金額は 388 億 4,300 万円で前年同期比 108.2%となった。ジャンル別に見てみると、構成比 1 位(46.7%)の『日本のアニメーション (一般向け)』が大ヒットタイトル『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』のリリースの影響により前年同期比 150.4%と大きく伸長した。一方、構成比 2 位(27.3%)の『音楽 (邦楽)』が前年対比で 88.8%と前年を下回ったほか、『洋画 (TV ドラマを除く)』(構成比 4.6%)が同 44.6%、前年同期に『アナと雪の女王 2』のリリースのあった『海外のアニメーション(一般向け)』(同 0.6%)が同 12.1%と前年同期を割り込んだ。しかし、前述の『日本のアニメーション (一般向け)』の大きな伸長に加え、構成比 3 位の『日本の TV ドラマ』が同 132.0%、4 位の『邦画 (TV ドラマを除く)』が同 124.0%、5 位の『芸能・趣味・教養』が同 129.7%と多くのジャンルで回復傾向を示し、全体的に前年同期の売上を上回った。

<添付資料 表 7 >

6. レンタル店用全体の総売上金額に占める DVD ビデオとブルーレイの構成比は、94.1 対 5.9 となり、昨年以上に DVD ビデオが占める割合が大きくなっている。DVD ビデオのレンタル店用の売上金額は 65 億 6,000 万円で前年同期比 56.8%、ブルーレイも 4 億 1,100 万円で同 29.5%と前年同期縮小傾向が顕著になっているが、特にブルーレイの縮

小が目立つ結果となっている。

<添付資料 表5B>

7. レンタル店用全体の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比 8.2%の『日本の子供向けアニメーション』が前年同期比 124.8%と健闘したものの、構成比 1位 (18.5%) の『邦画 (TV ドラマを除く)』が前年同期比 55.1%、構成比 2位 (18.1%) の『アジアのTVドラマ』が同 65.3%、構成比 3位 (18.0%) の『日本のアニメーション (一般向け)』が同 46.8%、構成比 4位 (12.7%) の『洋画 (TV ドラマを除く)』が同 31.6%と、主要ジャンルが軒並み大きく売上を下げた。(なお、販売用市場の売上に大きく貢献した『日本のアニメーション』ジャンルの『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』はレンタルリリースが本年 8月の予定のため、今期のレンタル店用売上には含まれていない。)

<添付資料 表8>

8. 売上金額を売上数量で割って単純に求めた 1枚当たりの単価を見てみると、DVD ビデオ及びブルーレイの「レンタル用」の平均単価が前年同期を下回ったが、「販売用」はどちらも上昇している。

<添付資料 表6>

以 上

追記

<本統計調査報告についての注意点>

- 本報告は、JVA 会員社が発売、販売する自社作品および他社作品の出荷段階の売上をまとめた統計である。
- 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引いている。
- DVD ビデオとブルーレイのコンボ作品はブルーレイにカウントしている。
- 「日本の子供向け(アニメーション)」などにある“子供向け”とは、目安として 9歳以下の子供を対象とした作品のこと。
- ブルーレイの売上には Ultra HD ブルーレイの売上を含む。
- 「特殊ルート」とは、雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるものの売上のこと。